

## § プロフィール §

### コイノニア・トリオ KOINONIA TORIO

ミシガン州アナーバー市で2015年に結成された。ギリシャ語で「共に貢献する贈り物」を意味する「コイノニア」から命名された。アメリカン・プライズ・コンペティションと、プリッグス室内コンクールでそれぞれ一位を獲得し、ミシガン大学のパフォーミング・アーツのEXCELerator奨励金他、ビンコウ室内楽基金から1万ドルの助成を受け、これまで、ニューヨーク、フロリダ、イリノイ、ミシガン、ミズーリ、ミネソタ、アラスカ、ハワイ、オーストリア、ドイツ、イタリアで演奏活動を行う他、インスブルック音楽祭、アンカレッジ室内楽祭、マウイ古典音楽祭など、多くの音楽祭でも演奏している。また、学校や老人ホームでのアウトリーチコンサートやワークショップを通じて、地域社会との関わりを広げている。



#### ヘジュン・チョー HYEJIN CHO (ピアノ)

梨花女子大学校音楽部ピアノ科を卒業後、インディアナ大学で修士号(M.M.)、ミシガン大学でピアノで博士号(DMA)として室内楽の修士号を取得。現在オクラホマ州立大学の客員助教授。これまで、アメリカ、ドイツ、イタリア、オーストリア、ギリス、日本、韓国でコンサート活動を行っている。ミシガン大学、ミゾーリ芸術協議会等によりグランプリを得て、アメリカの7つの州でロバート・シューマンのコンサートシリーズを実現させた。また女流作曲家のプロジェクトでは、2021年から22年にかけて、セシル・シャミナードピアニー・メンデルスゾーン=ヘンゼルによるあまり知られていない作品を世に紹介した。「コイノニアトリオ」の共同創設者もあり、トリオでニューヨーク、フロリダ、ミシガン、ミズーリ、ミネソタ、アラスカの他、ヨーロッパ5つの都市でコンサートを行っている。インスブルック音楽祭(モンタナ)、アンカレッジ室内楽祭(アラスカ)、セントー・ステージ・ストリング(ミシガン)、プライムミュージック夏祭(モンタナ)等でも共演している。



#### クリスティン・原田・李 CHRISTINE HARADA LI(ヴァイオリン)

ミシガン大学音楽学部を最優等で卒業後、ドイツのハノーファー音楽大学より修士号、その後、ミシガン大学音楽学部の大学院でディビット・ヘイレンに師事し、2019年にヴァイオリンで博士号(DMA)を取得。これらの大学でヨナタン・ベリック、エリザベス・クリアース、アンネ・レーリヒ(バロック音楽)、アーサー・グリーン(ピアノ)に師事。オハイオ大学音楽学部のバイオリンと教授法の助教授を経て、この秋から、ヴァイオリンの助教授としてウイスconsin大学オーレア校で教鞭をとる。「コイノニアトリオ」の共同創設者であり、トリオで又単独でこれまでアメリカの各地、カナダ、日本、ドイツ、イタリア、オーストリア、スペインで演奏活動を行い、最近では、ミシガン大学のシンフォニーオーケストラ、アンカレッジ・ユース・シンフォニー、マーケット・シンフォニー・オーケストラなどと共演している。アンカレッジ室内楽フェスティバルの共同創設者兼ディレクター、スインズブルック夏の音楽祭の教育面でのディレクターとしても活躍している。



#### ナサニエル・ピアス NATHANIEL PIERCE(チエロ)

チェリスト、テノール歌手。ミシガン大学音楽学部を卒業。インディアナ大学大学院で修士号取得後、ミシガン大学音楽学部の大学院で2018年にチエロで博士号(DMA)取得。コロナ禍以前にワシントンD.C.のケネディセンターでリサイタルを行った他、ソリストとして、トレド(オハイオ)、デクスター(オハイオ)、アルバニー(ニューヨーク)、バーミングham・ブルームフィールド(ミシガン)のオーケストラで共演している。チエロと声楽を合わせた新しい形の演奏を開発し聴衆を魅了している。ミシガン大学のプレカレッジプログラムの指導者として、大学以前の音楽教育に関わる他、インディアナ大学、ミネソタ大学ダルース校、ウェスタン・リノイ大学、オハイオ大学、ミズーリ州立大学等でも教鞭をとっていた。アンカレッジ室内音楽祭の共同創設者でもある。オクラホマ芸術祭、マウイ古典音楽祭、インスブルック音楽祭、桜美林大学の音医学ワークショップ等でも演奏し、コノニアトリオの共同創設者としてアメリカ、ヨーロッパ各地で演奏している。